

コゲラ
キツツキ目・キツツキ科
太い樹木のある公園
／全長15cm

樹木を縦横に移動して、くちばしで木を叩くなどして昆虫を探し食べる。単独でいることが多く、ギーッギーッと鳴く。

ユリカモメ
チドリ目・カモ科
海岸や河口、干潟、湖沼／全長41cm

くちばしと足が赤い。冬鳥として日本に飛来し、数十羽からの群で生活し、水面付近を飛びながら餌を探す。夏羽は頭部が黒褐色になる。



東京港野鳥公園で月例探鳥会
に参加してみよう!

「日本野鳥の会・東京」により、毎月都内10か所で行われている「探鳥会(バードウォッチング)」。

大田区内では東京港野鳥公園が会場。事前申し込みも不要なので、まずは参加してみよう!

- 毎月第1日曜(1月と5月は第2日曜)
- 参加費200円(18歳未満無料)
- 東京港野鳥公園入口に午前10時集合
- 弁当、飲み物、雨具、観察道具(無くて可)持参

野鳥の会レンジャーが常駐、双眼鏡や観察小屋などの設備も充実

東京港野鳥公園

冬の鳥たち カモ類、カイツブリ、カワウ、サギ類、オオバン、イソシギ、猛禽類、コゲラ、モズ、ヒタキ、メジロ、ツグミ、シジュウカラ、ハクセキレイ、他



今年で開園30年を迎えた東京港野鳥公園。一度は埋め立てられた場所だが、市民たちの熱い思いから公園として甦った。36haの公園には、雑木林・田んぼ・草地・淡水池・汽水池・そして干潟など様々な環境があり、多種多様な生きものが観察できる。

- JR「大森」駅からバスで約20分／東京モノレール「流通センター」駅徒歩約15分
- 大人300円、中学生150円、小学生以下無料
- 9:00～17:00(11月～1月は閉園16:30) 月休
- 大田区東海3-1

メジロ
スズメ目・メジロ科
公園や街路樹、庭木
／全長12cm

「目」の周りの「白い」リングが目印。花蜜ややわらかい木の実、昆虫を食べる。冬には梅や椿などの花木にやってくる姿がよく見られる。

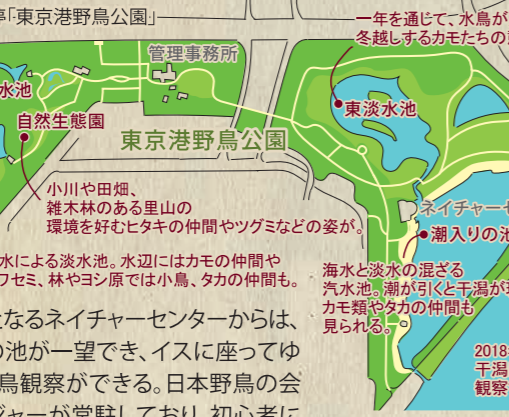
オオタカ
タカ目・タカ科
落葉広葉樹林や針広混合林／全長50～57cm

山地で繁殖し、秋冬には低地でも見られるようになる。空中や地上で小鳥や小動物を捕る優秀なハンターで、江戸時代は鷹狩りに使われていた。

ハクセキレイ
スズメ目・セキレイ科
川の下流域、市街地／全長21cm

ほおが白く、雄の夏羽は黒、冬は灰色。長い尾羽を上下に振って素早く歩き、チュチュン、チュチュンと鳴く。昆虫、ミミズなど雑食する。

昔から鳥兆しを告げる存在である



東淡水池 潮入りの池

カワセミ
フッコウソウ目・カワセミ科
河川や干潟など水辺／全長17cm

鮮やかな水色や緑に見える体は、古来からヒスイなど青い宝石にたとえられる。水中に飛び込み長くくちばしで巧みに魚等を捕る。公園の池や住宅地の川でも観察されている。

モズ
スズメ目・モズ科
川原、農耕地など／全長20cm

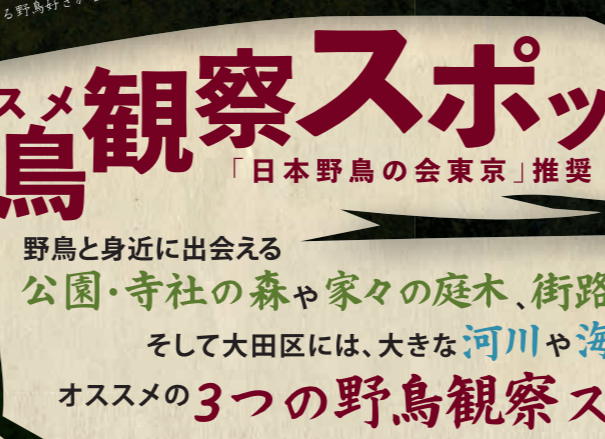
小さいが猛禽類。鳴き声はキュンキュン、秋にキーキーキキと高鳴きする。樹上から地表の獲物を襲い、木の枝に突き刺したり挟んでおく「はやにえ」が知られる。

カイツブリ
カイツブリ目・カイツブリ科
湖沼や流れの緩い河川／全長26cm

カモ類より小さい。水上生活が主で、30秒近く潜水でき、小魚や水生昆虫を食べる。水草の上に浮き巣を作る。

ホシハジロ
カモ目・カモ科
湖沼や河川／全長45.5cm

赤みがかった茶色の頭で胸が黒く、雌は全身褐色で目の回りに白い線がある。水に潜って、主に水草を食べる。



野鳥と身近に出会える公園・寺社の森や家々の庭木、街路樹。そして大田区には、大きな河川や海辺、干潟などのオススメの3つの野鳥観察スポットがある。

樹木豊富な公園から、オオタカなど猛禽類にも出会える川沿いへ

多摩川台公園から多摩川緑地へ

冬の鳥たち ツグミ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオジ、カワラヒワ、メジロ、オナガ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、コゲラ、他

東急線「多摩川」駅から歩いて巡る野鳥観察スポットが豊富なエリア。多摩川台公園は、多摩川を見下ろす高台の公園で、背の高い樹木が多い。枝の上の鳥たちの動きや鳴き声を探そう。水生植物園などもあり、この公園だけでも様々な種類の野鳥と出会う。さらに足を伸ばして多摩川岸へと降りればカモ類、そして猛禽類の姿さえも見つけられるかもしれない。河川敷に広がるススキやアシ原の茂みを意識してみると、小鳥たちの気配も感じられる。

- 東急東横線・多摩川線・目黒線「多摩川」駅徒歩4分
- 多摩川台公園開園時間9:00～17:00(10月～2月)
- 大田区田園調布1-63-1

東淡水池 潮入りの池

ノスリ
タカ目・タカ科
草地や農耕地、川原／全長52～57cm

同じタカ科のトビより小さく薄い色で、短い丸い尾を持つ。空中で停飛し、ネズミなどエサを捕るため急降下をする。ピーーなどと高い声で鳴く。

バン
ツル目・ウイナ科
湖沼や川などの水辺／全長32.5cm

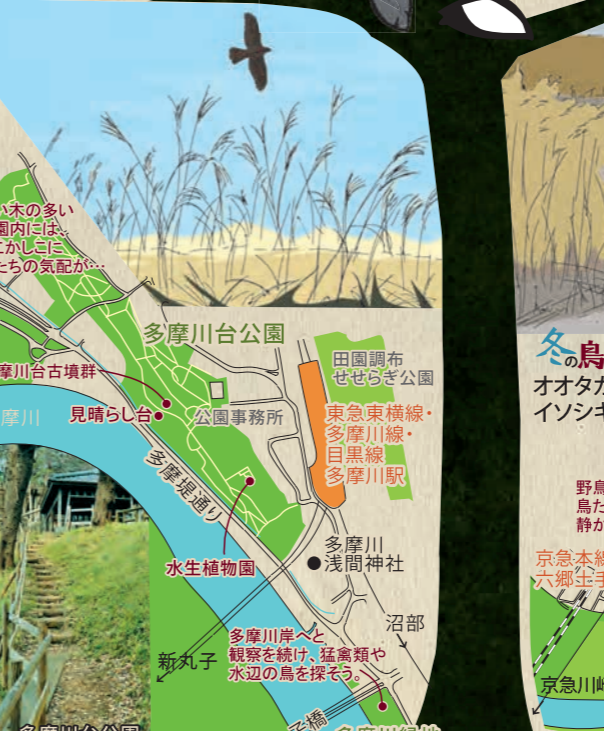
ハト大で額が赤く、くちばしの先が黄色。アシなどの茂る水辺を好む。水草が主食だが、昆虫や貝などを雑食する。クルルと鳴く。

アオサギ
ペリカン目・サギ科
川や湖沼、水田、干潟／全長95cm

背中が青灰色の最も大きなサギで、砂泥の多い水辺を好み魚類や両生類などを捕食する。立ったまま翼を半開きにして日光浴をする。

アオサギ
ペリカン目・サギ科
川や湖沼、水田、干潟／全長95cm

背中が青灰色の最も大きなサギで、砂泥の多い水辺を好み魚類や両生類などを捕食する。立ったまま翼を半開きにして日光浴をする。



東淡水池 潮入りの池

ダイサギ
ペリカン目・サギ科
川や湖沼、湿地、干潟／全長80～104cm

長い脚で他のサギ類より深い水辺で魚類や両生類、甲殻類などの餌を捕る。小群や単独で行動し、じっと立っている姿をよく見かける。

イソシギ
チドリ目・シギ科
河川や干潟など水辺／全長20cm

ほぼ一年中見られる。1～2羽でいることが多く、水辺を歩き回りながらまっすぐなくちばしで昆虫などの餌をとる。歩くときは腰を上下に振る。

アオサギ
ペリカン目・サギ科
川や湖沼、水田、干潟／全長95cm

背中が青灰色の最も大きなサギで、砂泥の多い水辺を好み魚類や両生類などを捕食する。立ったまま翼を半開きにして日光浴をする。

アオサギ
ペリカン目・サギ科
川や湖沼、水田、干潟／全長95cm

背中が青灰色の最も大きなサギで、砂泥の多い水辺を好み魚類や両生類などを捕食する。立ったまま翼を半開きにして日光浴をする。



東淡水池 潮入りの池

観察時に気をつけたい

- 野鳥が見られる場所は、自然が多く残る場所。風雨や気温、足元に注意して、思わぬケガをしないように。
- 野鳥を探すことに気を取られ過ぎず、周囲の状況にも気を配りましょう。
- 巣には近づかず、自然環境を壊さないように。

羽田水辺の楽校 冬の野鳥観察会

海を渡ってくる美しい鳥たちとの出会い

多摩川河口の大師橋干潟から六郷水門上流の河川敷まで(約1km)、川岸に沿って様々な種類のカモやサギ等の鳥たちを観察しながら、多摩川河口の自然と環境について学んでみよう。

- 令和2年2月9日(日) 雨天中止
- 参加費無料
- 定員20名
- 集合9:50 / 解散12:00
- 本羽田公園「羽田水辺の楽校」前で当日受付
- 寒くない服装、滑りにくい厚底靴、手袋、水筒、タオル、双眼鏡(ある方)

干潟に集まる水鳥の群れを観察

多摩川六郷橋緑地

第一京浜が多摩川を渡る六郷橋から下流方向の河川敷が多摩川六郷橋緑地。川幅の広さがもうすぐ河口であることを感じさせる。干潮時には赤いレンガ作りの六郷水門入りからの岸辺一帯に干潟の風景が現れる。干潟に生息するカニやトビハゼなどを狙うカモ類やユリカモメの群れなどが飛来。特に、春と秋はシギ・チドリの人気観察スポットだ。

- 京急本線「六郷土手」駅徒歩6分
- 大田区東六郷3丁目
- ※風の強いときもあるので、冬場には防寒対策をして、足元にも気をつけて観察したい。

鳥を見つける名人は探上手かな

あの鳥の声は?

あの鳥はどんな声で鳴いていたろう? 「日本野鳥の会」のWebサイトで、鳥たちの声と姿を確認することができます。

日本野鳥の会「BIRD FAN」
「野鳥図鑑」のページから、音声を再生してみよう!